



# 進路通信

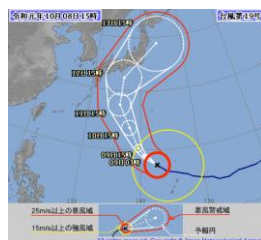
2年生用

進路指導係発行

令和3年10月

## 「進みたい路」と書いて「進路」と読む

一般に7～10月は台風の増える時期と言われています。台風の今後の進路予想図が天気予報の番組等でよく見られますよね。そういえば、ずいぶん昔の話ですが、「台風はいいよなあ、進路が決まっていた」という高校生のつぶやきが「バズった」記憶があります。なんだか切実ですよね…。



そんな高校生も羨む台風ですが、実は「8月の台風は進路が不安定になる」傾向にあるそうです。台風でも進路に悩むんですね。なぜそうなるのかの理由については割愛しますが、皆さんも夏休みあたりで進路について悩み始める時期ではないでしょうか？この辺についても高校生に似たところがありますよね。なんだか、今までよりも台風に親近感が湧いた高校生もいるかも？

### 進路が決まらない理由

#### ○ 決まらない理由は主に2つ

台風の進路についてのお話ではなく、あくまでも高校生の進路のお話。

- ・自分のことをよく知らない
- ・進路先のことをよく知らない

#### ○ 自分のことを知ろう👉

意外と自分で自分のことを語るのは難しいですよ。短所はいくらでも浮かぶけれど、長所が見つからない、という人も少なくないはず。そんな時は周りの人に訊いてみよう！きっとあなたの良いところや意外な側面を示唆してくれるでしょう。

進路と向き合うことは自分自身と向き合うことでもあります。よくよく自分のことを見つめ直しましょう。



何が好き？  
何が得意？  
何に興味がある？  
どんな性格？



## ○ 進路先のことを知ろう📖

将来の夢がはっきりと決まっている人は、その夢を叶えるためにどのようなプロセスが必要か、しっかりと情報収集をしましょう。進路選択は「石橋を叩いて渡る」くらい慎重に、一歩ずつ進んでいきましょう。

実は、将来の夢が決まっていない人の方がほとんどです。まだまだ知らないお仕事の世界がたくさんあるので、進路指導係としてもたくさんの企画を提案していきます。新たな職業を知るためのいいきっかけとなれば幸いです。

例) 10月21日(木) 横浜地方・家庭裁判所 出張講義

12月14日(火) 外務省 高校講座

※外務省 高校講座は10月15日(金)がㄆ切です。まだ間に合いますよ！

### (進路選択の一例)

学問を深めたい ⇒ 大学・大学院

実習中心で専門技術を身につけたい ⇒ 短大・専門学校・専門職大学

すぐにでも働いて収入を得たい ⇒ 公務員・就職

### 大学院に進む必要がある例

- ・カウンセラーになりたいから大学の心理学部に進み、卒業したらバリバリ働こう！  
⇒ × 臨床心理士の資格は大学院にまで進まなければ取得できません。
- ・大手電機メーカーの技術職に就きたいので、少しでも高学歴の大学に進みたい！  
⇒ △ 企業にもよりますが、技術職はほぼ大学院に進んでいます。

## 時間割選択(科目選択)

### ○ 3年生の時間割を選択する時期

選抜スタンダード文系やアドバンス文系では、現在履修している地歴の科目(日本史Bか世界史B)を継続するか、公民(政治経済)に変更するかの選択の時期となります。入試や将来の夢につながる科目かどうか、よく調べて選択しましょう。

選抜スタンダード理系では生物・物理の選択となります。選択によっては志望分野が限定されてしまうので、注意してください。例年、選択を間違えて後悔する生徒が出てしまうのが現状です。

アドバンス理系の生徒は数学研究A・Bか数学Ⅲの選択肢があります。こちらも選択によっては受験先が限定されてしまうので、安易に選択することがないようにしましょう。



## ○ 行動力が大切

3年生の志望理由書を添削する際のお話。「看護の仕事に興味があります」と書いてあったので、その生徒に「看護体験には行った？」と訊くと、「行っていない」という。なぜかと問うと「最近出てきた目標だから」という返事でした。

さて、少し視点を変えてみましょう。もしあなたが看護学校の面接官だったら、どういう生徒を合格にしますか？ただ「『興味・関心がある』と書いてあるだけ」の生徒と、実際に「看護体験に参加している」生徒では、どちらの方が「看護師になりたい」という主張に説得力がありますか？



今、高校生に求められているものの一つに、「主体的に学ぶ姿勢」というものがあります。簡単に言えば「興味・関心がある」物事に対して、高校生活の中でどれだけ自ら行動を起こしたか、が問われるということです。

早くから将来の夢が決まっている生徒には、ぜひ、さまざまな機会を大切に、自身の経験を豊かにしてほしいです。現在はオンラインなどで気軽に大学の講座が受講（※1）できたり、職業体験ができたりと、学びの機会も多く設けられています。また、先ほども紹介したように、校内でのイベントなども随時企画しています。自分の進路に関するものにはどんどん参加しましょう。

そのほかには検定の取得などに取り組むのもいいでしょう。2年生のうちに何かしらの検定取得に挑戦してみてはいかがでしょうか？



※1  
桜美林大学 ディスカバ！

## ○ 英語検定がカギ

大きな入試制度の変化の中、さまざまな入試方式において実用英語技能検定（通称「英検」）の重要性が増してきています。学校推薦型選抜の出願条件に含まれたり、総合型選抜の合格に有利に働いたり、一般選抜では英語の試験免除になる大学もあるほどです。もしかしたら「英検」が進路の扉を開くカギになっていくかもしれません。



10月10日（日）に第二回英検一次が行われます。現在の2年生において英検準2級以上を取得している生徒は28名です（9月30日現在）。今年の3年生は現在125名が準2級以上を取得しています（2年生では36名）。3年生になってから90人ほど合格者が増えています。ある意味では、進路に対する意識の表れともとれますが、一方で、3年生で受からなかったら後がないのも事実です。もしかしら、3年生で英検準2級以上の取得が叶わず、出願する大学を大きく変更しなければならなくなるかもしれません。2年生のうちから挑戦した方がチャンスも広がります。皆さんも自分の進路を切り開くために英検の取得をめざしましょう！

※第三回 英検一次 1月23日（日） 二次 2月27日（日）

## ○ 進路室を活用しよう！

私が、進路指導室や進路資料室にいて気がついたことがあります。それは「来室する生徒が3年生ばかり」だということです。確かに、3年生の方が直前に進路決定を控えているわけですから、多くの生徒が来室するのも頷けるのですが、それにしても、他の学年を見かけない。それはいかなものかと考えました。だって進路は3年生だけの問題ではないから。

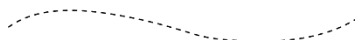


進路資料室には、さまざまな進路に関する資料が保管されています。また進路指導室には、進路に詳しい先生たちがいますので、相談にのります。まだ、なかなか行動に移せていない生徒は、一步踏み出してみませんか？ そして進路指導室の先生と話すことで、進路を考えるきっかけにしてみませんか？ ぜひ気軽に、進路指導室や進路資料室に足を運んでみてください。

## ○ さいごに



さて、さまざまに進路について語ってきましたが、最後の話題に入りましょう。我々、進路指導係の教員は、生徒が「進路」を考えることを通して、生徒の成長につながることを喜びとして働いています。自分と向き合うこと、知らないことをそのままにせず、自ら情報を獲得しようとする姿勢が身につくことは、その後の将来にも大きな良い影響を与えます。「進みたい路」を実現したあとは、それがその人の「進んできた路」となり、しっかりと歩んできた「足跡」を残すはずです。そして、その事実が自分の自信となり、さらに一步を踏み出す、あらたな「足跡」を残す活力となるのです。すごろくのように、サイコロの出目に運を任せ、人生を歩んでいくよりも、自分で選択してきた結果として、一步ずつ進んでいってほしいと、我々は願っています。



## 進路の秋のテーマ



2年生：3年生を良い形でスタートできるように、準備を着々と進めましょう！